

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

栗国村まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

沖縄県島尻郡栗国村

### 3 地域再生計画の区域

沖縄県島尻郡栗国村の全域

### 4 地域再生計画の目標

本村の人口は、昭和 35 年の 2,125 人をピークに減少しており、住民基本台帳によると令和 5 年には 666 人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2045 年には総人口が 500 人となる見込みである。

年齢 3 区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14 歳）は昭和 35 年の 951 人をピークに減少し、令和 5 年には 71 人となる一方、老年人口（65 歳以上）は令和 2 年の 248 人から令和 5 年には 263 人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また生産年齢人口（15～64 歳）も昭和 35 年の 870 人をピークに減少傾向にあり、令和 5 年には 332 人となっている。

自然動態をみると、出生数は平成 15 年の 13 人をピークに減少し、令和 4 年には 5 人となっている。その一方で、死亡数は令和 4 年には 18 人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲13 人（自然減）となっている。

社会動態をみると、平成 13 年には転入者（92 人）が転出者（67 人）を上回る社会増（25 人）であった。しかし、本村の基幹産業である農業・水産業の衰退に伴い、雇用の機会が減少したことで、村外への転出者が増加し、令和 4 年には▲2 人の社会減となっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

これらの課題に対応するため、村民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現

を図り自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 安心して働き、稼げる栗国
- ・基本目標 2 栗国に関わるひとの流れを創出
- ・基本目標 3 安心して出産・子育てができる栗国
- ・基本目標 4 誰もが健康でいきいきと暮らせる栗国

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	集落営農の組織（農業法人等・4年間累計）	0 団体	1 団体	基本目標 1
	むらづくりを担う新たな組織（商工会等・4年間累計）	0 団体	1 団体	
イ	若者主体村づくり活動の企画・実施（4年間累計）	0 件	3 件	基本目標 2
	社会増減数（4年間累計）	-25人 (平成27～ 令和元年)	+20人 (令和3年～ 令和6年)	
ウ	子育て世帯数	35 世帯	36 世帯	基本目標 3
	幼児・児童生徒数	67 人	70 人	
エ	平均寿命	男性 80.8 歳 女性 88.0 歳	男性 80.9 歳 女性 88.1 歳	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2 とおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

栗国村まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 安心して働き、稼げる栗国事業

イ 栗国に関わるひとの流れを創出事業

ウ 安心して出産・子育てができる栗国事業

エ 誰もが健康でいきいきと暮らせる栗国事業

#### ② 事業の内容

ア 安心して働き、稼げる栗国事業

本村の基幹産業である農業・漁業の生産基盤を強化するとともに、観光との連携による底上げを図る。

本村で「ひと」が暮らすための環境づくりとして、「しごと」の創出を図ることが最重要課題であり、子育て世代や高齢者等、村民の仕事に関するニーズへの対応を図るとともに、旅行と仕事体験ができる新たな取組みを推進する。

基幹産業である農業・漁業・畜産業の生産向上や人材育成・確保に努めるとともに、6次産業化等による雇用の創出等、地場産業の振興を支援する。

また、農業生産法人や商工会等といった組織化に取り組むことで、土地集積や地域ビジネス等といった市域課題の解決に向けた事業創出を支援する。

#### 【具体的な事業】

- ・観光・レクリエーションの振興
- ・農業・畜産業の振興
- ・漁業の振興

- ・地場産業の振興
- ・子育て環境の充実 等

## **イ 粟国に関わるひとの流れを創出事業**

本村への転入が転出を上回る社会増を目指し、I・Uターン者が住むための住居環境を整備する等、出身者の戻りや移住希望者の受入れを積極的に図る。

本村の静かで落ち着いた雰囲気のある生活環境を活かし、移住定住を促進させる。

粟国に関わるあらゆる人との交流機会を増やすことにより、本村への新しい「ひと」の流れをつくり、関係人口の増加に向けて支援する。それにより本村のにぎわい創出と将来的な移住定住へと促進させる。

### **【具体的な事業】**

- ・島内外交通体系の充実
- ・観光・レクリエーションの振興
- ・農業・畜産の振興
- ・定住環境の整備
- ・地域文化の振興
- ・村民協働・関係人口との交流促進
- ・健全な財政運営 等

## **ウ 安心して出産・子育てができる粟国事業**

家庭、学校、地域、職場等の連携を強化しながら、結婚・妊娠・出産と仕事との両立、男女ともに仕事と子育ての両立を支援する。

本村では子どもと子育て世帯を対象とした支援施策を実施しているが、「子どもの安心安全な遊び場づくり」「教育学習面の充実」等のニーズに合わせた支援策の充実に取り組む。

高校のない本村では、中学卒業と同時に「15の旅立ち」で子どもだけが本島で生活する場合の生活支援や、奨学資金の充実を図る。

本村の魅力ある自然や産業等を学習素材として、愛郷心を育む教育施策を展開する等、創造性豊かな人材育成を図る。

### **【具体的な事業】**

- ・幼稚園・学校教育の充実
- ・子育て環境の充実 等

## **エ 誰もが健康でいきいきと暮らせる粟国事業**

高齢者の健康づくり、活躍できる場づくりを図るとともに、島内外の交流促進による人と人のつながりを強化する。また高齢者や子供、子育て世代等のあらゆる人たちが、安全で安心して暮らせる生活環境を実現させる。

島の伝統行事の承継や集落運営を持続的なものとするため、村民参加の仕組みづくりや産学官民の連携、地域の担い手となる人材やサポーターの教育を図ります。

島の暮らしや生活利便性の向上を目指し、海路や空路、島内交通の運航充実に向けた取組みを図っていく。

### **【具体的な事業】**

- ・土地利用の確立
- ・新エネルギー・省エネルギーの拡充
- ・島内外交通体系の充実
- ・定住環境の整備
- ・環境衛生の向上
- ・地域文化の振興
- ・保健・医療の充実
- ・高齢者支援の推進
- ・地域福祉の推進
- ・村民協働・関係人口との交流推進
- ・公共施設等の総合管理 等

※なお、詳細は第4次粟国村総合計画・第1期粟国村総合戦略のとおり

### **③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

### **④ 寄附の金額の目安**

140,000千円（2023年度～2024年度累計）

### **⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度3月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組み方針を決定する。検証後速やかに本村公式ホームページ上で公表する。

**⑥ 事業実施期間**

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

**6 計画期間**

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで